

進級児保護者の皆様

幼保連携型認定こども園
川島こども園

教育・保育活動についてのアンケート結果のご報告

陽春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より、当園の保育・教育活動にご理解とご協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

昨年度の保育・教育活動についてのアンケートにご協力いただきましてありがとうございました。ご意見いただいた内容につきまして園としての対応や考え方を以下のように示させていただきました。今年度の保育・教育活動に生かしてまいりたいと思います。なお、個人が特定されるような内容は割愛させていただきました。ご了承願います。

○ 園の取り組みに対しましてたくさんの温かいご意見をいただきました。励みになります。

- ・人権チェックリストで良くない言葉かけをしてしまったとのこと。そのことに気付いて改善できていることはとても良いことだと思います。保育者といっても人間なので、先生方のストレスのならないようにしてもらえたらと思います。
- ・いつも本当にありがとうございます。感謝の気持ちで言葉も出ないです。川島こども園のおかげで息子はお歌もいっぱい覚え、遊びや季節の行事などを楽しく学んでいます。今トイレトレーニングの最中ですが、園のおかげで順調に本人もやる気まんまんで頑張っています。お友達もたくさんできたようで、よく楽しそうに話しています。一方、職員の皆様の負担もかなりあるのではと思っています。保護者が負担できる部分は負担できる仕組みがあればと思います。
- ・先生方も時に否定的な言葉を使ってしまう場面はあると思います。それをきちんと反省し、自己評価できる先生は素晴らしいと思いました。言葉かけ一つで子どもを認めて前向きにさせてあげられるので、家でも気を付けていきたいと思います。
- ・先生方にはいつも子ども目線で寄り添い、子どもの意見を尊重してくださっているなど感じます。小学校へ向けて意見を述べたり、お友達の声を聞くという大切なことを学ばせてくださっていてとても感謝しています。先生が言ったことをみんながただやるということではなく、保育参加の時も「これはどうしようか?」「どうしたら～なるかな?」など常に考えさせてくださり、年中、年長児でこんなにも立派に自分の意見をもっているのだなあとびっくりしました。年少では毎日朝泣いたりごねたりしていたのに、いつの間にか「楽しい!」「今日は～作るんだよ」と話してくれます。全て先生方のおかげです。本当にありがとうございました。
- ・「〇〇ちゃんに…」「ママ!っ泣きそうになっちゃったんだよ」という息子。続けて「でも、先生がきてくれたの。と話してくれました。友達との関わり合いの中でまだ自分たちでは解決できない年ごろ。子どもの「先生きてくれた」の言葉にとっても安心しました。
- ・近日のコロナ対策など、徹底していただいているおかげで安心して通えております。

○ 思い出ファイルについて

- ・先生方の過度な負担にならない程度に作成していただけると両親だけでなく祖父母たちにも園での子どもたちの様子を見せることができ重宝しています。
- ・子どもの姿もわかり、先生の気持ちも伝わってきて一生の宝物になります。先生の負担になりすぎるのは良くないですが、今後も続けてほしいです。
- ・その瞬間が伝わるようなとてもよいものでした。先生方の貴重な時間をありがとうございます。

→園としましては保育の質を高めるという点においても非常に有効な手段だと考えています。先日も白百合女子大学の椎橋先生をお招きし、1年間の計画の作成と思い出ファイルの活用について研修を行いました。希望保育のご協力もありがとうございます。今年度も、もちろん実施いたします。2年間の取り組みを振り返り、令和2年度の思い出ファイルの在り方を模索しているところです。

○ スパッツの着用について

- ・今の時期は暖かくなり必要はないと思いますが、冬の寒い時期までを禁止するのはどうかと思います。制服の登園・降園の際まではハイソックスということになりますよね？大人でも寒すぎます。着脱が一人でできるように…それは少しずつできるようになります。おなかを壊したり、風邪をひいたり原因になるかと…私だけの意見ではないので受け止めていただけたらと思います。

→今回のお願いの趣旨としましては、「ズボンの下（体操服より下）にスパッツやタイツを履いてしまうと体温が上がったときに自分で着脱ができない」というものです。同様に上着についても長袖の下着はご遠慮いただくようお願いをしております。寒さへの対応も大切なことと思いますが、暑くても脱げないことにより汗の始末や過度な体温の上昇による発熱も心配されます。子どもたちから「暑いけど脱げない」という声もあがっています。戸外で集団で遊んでいる場合、その子だけ室内に入れてタイツを脱がせるような対応は難しいです。また、タイツやスパッツを着用している場合、排せつの際に間に合わないこともあり、それが本人にとって嫌なこととなる場合もあります。寒さ対策や着脱のしやすさという点では温かいパンツを履かせていただいたり、温かい靴下を履かせていただいたりする方法があるかと思います。認定こども園教育・保育要領の満3歳以上のねらいには「身の回りを清潔にし、衣類の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でする。」というものがあります。少しずつできるようにするために、「着脱しやすいもの」を着用させていただきますようお願いいたします。

※ 駐車場から園舎までのお話ということですので、心配であれば膝までの上着を着せてきて室内に入る前に脱がせていただく（降園時も同様）などのご対応をしていただけるとありがたいです。

○ 降園時の保育者の対応について

- ・降園時に当日の園での様子を伝えていただき安心できた。小さなことでも子どもをほめていただけるので親としてもうれしかった。
- ・毎日お迎えの際に今日一日の出来事を先生から直接聞けるのがとても貴重な時間でいいなと思います。細かなことですが、園での様子が目に浮かび、先生もお忙しい中一人一人に時間を割いていただきありがたいです。
- ・4時頃に担任の先生とお話して帰れないのは悲しい。（概略）

→保育者が一人一人の子どもたちに十分向き合うための取り組みの1つです。日々十分なお時間をとることが難しいですが、面談の機会も活用いたしまして保護者の皆様との信頼関係を築いていけるよう善処いたします。全園児担任からその日の様子をお伝えしてお返しすることが理想ですし、園としてもできることならばそうしたいと考えています。しかし、園には11時間園児が在園する子もおり、その都度担任がお話して帰すということには無理がございます。降園時間を長時間設けると外で待ち続ける子が多くなり、その子たちの遊ぶ時間が制限されたり、保護者の皆様とお話している時間の安全が脅かされたりすることとなります。入園説明会や無償化の説明会の際にお伝えしていました通り、認定の違いによる降園時刻のずれや子どもたちの安全、保育者の勤務時間とのバランスを考慮して担任とお話をさせていただきます。つばみ組につきましてはコロナウイルス対応の状況が落ち着き、保育室で降園ができるようになれば遅い時間から勤務を開始する職員もおりますので、お話できる機会があるかと思っております。3歳以上につきましては、思い出ファイルも作成し、園での様子をお伝えしております。今年度は日常の様子もカメラマンさんに入ってください販売する予定です。また、管理職等フリーの職員は全園児の様子の把握に努めてまいります。今年度は朝の受け入れの時間は園長及び副主任が受け入れにあたりますので、ご心配な点があればお声掛けください。

○ 準備物の連絡について

- ・準備物の連絡が直前になることがあるので、1～2週間前にしてほしい。

→できる限り早めのご連絡を心がけます。子どもたちの活動の展開により急に必要になる場合もございますので、その際は持ってこられる方など限定しながらお伝えさせていただきます。